

都道府県別賞一等

夢への実現のために

岩手県 岩手大学教育学部附属中学校 三学年

佐々木 彩織

これからも友達と遊びに行ったり、笑いながら話したい、こんな高校に入りたい、こんな職業に就きたい……。私はこれからの人生について夢だけを膨らませ、深く考えずに明るい未来が待っているだろうと思っていた。

ある日、私は両親から

「実は、彩織は双子だったんだよ……。」

と言われた。私はそれを聞いた瞬間、頭が真っ白になった。最初から私一人だけの妊娠だと思っていたし、そもそも自分が双子として母が妊娠していたなんて考えたこともなかったからだ。詳しく聞くと、初めは双子として妊娠していたが、途中で片方の赤ちゃんがいなくなってしまい、残ったもう片方の赤ちゃんが私だったそう。当時はその事実を飲み込むことができなかったが、時間が経つにつれ命について考えるようになり、この話を思い返してみても『命は儚い』とつくづく思う。一日一日はとても長いように感じるが、一カ月、一年、十年はとても早いように感じる。また、私の曾祖母や叔父が亡くなってしまった時も、生まれて来るはずだったもう一人の子も、亡くなる時は一瞬でとても儚いものだった。

『命は儚い』。こう思ってしまったら自分の人生、未来も不安になってきてしまった。突如自分自身が事故に遭ってしまったら……。病気になるってしまったら……。自分ではなく両親が事故に遭ったり、病気になるってしまったら……。私の思い描いていた未来とは程遠くなってしま……。そんな不安から、私は母に

「そうなってしまった場合どうすればいいの？」

と質問した。そしたら母は

「生命保険が私たちの生活の少しの支えになってくれるの。だから彩織も色々な保険に入っているんだよ。」

と言っていた。私は生命保険について、言葉として聞いたことがあっただけで、詳しくは何も知らなかったため調べてみた。そうすると生命保険にも医療保険や介護保険、生存保険など身近なところから将来のところまで、目的によって色々な種類があり、使い分けられることができたことを知った。もし生命保険に入っていない場合、たくさんのお金がかかってしまい、自分たちの挑戦してみたいこともできなくなってしま……。それ以前に、日常生活にも支障が出るか

第61回中学生作文コンクール

もしれない。しかし、生命保険に入っていれば、自分の身や家族の身に何か起こったとしても、お金を保障してくれ生活の支えとなってくれたり、少しは不自由かもしれないけれど徐々に夢に向かって挑戦していけると思う。つまり、生命保険は私たちの大切な支えになってくれるものだと思う。

生命保険とは「将来の不安を和らげてくれるもの」だと私は考える。命というものはこの世で何よりも大切に生きていくだけで幸せだと思う。生きていれば、ちょっとしたことも幸せが訪れてくるチャンスがある。また自分の夢に向かっていつでも挑戦することができる。しかし、生きていけば幸せなことだけではない。その時は夢への挑戦は止まってしまうかもしれないが、保険に入っていればその期間、経済的にも精神的にも私たちの支えとなってくれ、夢への実現に向けて再出発することができる。保険はただのお金の保障だけではなく、私たちの心の支えとなってくれているのだ。夢の実現のために……。